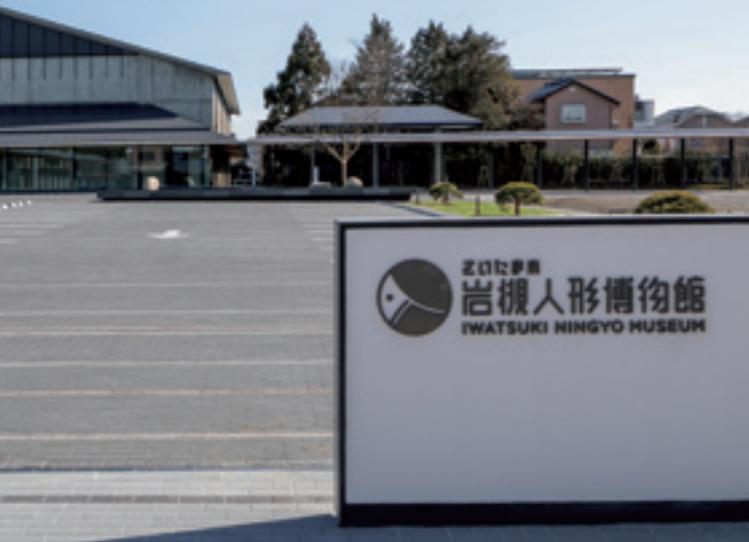


岩槻人形博物館では、人形や人形文化に関する資料の収集・保存、調査研究を行い、展示・教育普及活動などに取り組んでいきます。誰もが気軽に、身近に楽しめる施設になるよう努めるとともに、日本文化の中に息づく人形の美と歴史を大観し、その魅力や奥深さを広く国内外に発信していくミュージアムを目指します。



## 日本の人形



日本の人形は、信仰的な背景のもとに誕生しました。やがて人形の役割は広がり、江戸時代になると愛玩や鑑賞の対象として、めでたく華やかな存在に発展していきました。その代表的なのが「雛祭り」に飾られる雛人形です。

昭和時代以降は人形が芸術としても評価され、日本独自の多様な人形文化が醸成されました。

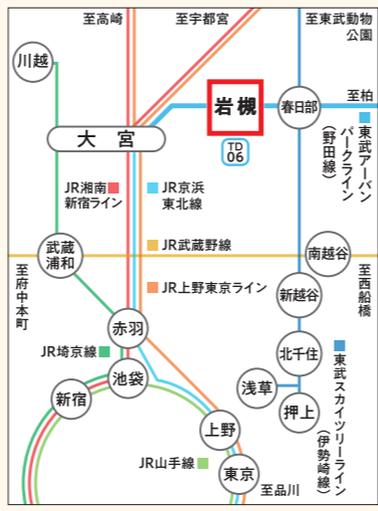
御所人形 鶏合(部分) 江戸時代

**開館時間:** 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで  
**休館日:** 月曜日(休日の場合は開館) / 年末年始(12月28日～1月4日)  
 ※臨時に休館・開館することがあります。  
**観覧料:**  
 一般 / 300円(団体:200円、年間パスポート:1,030円)  
 高校生・大学生・65歳以上 / 150円(団体:100円、年間パスポート:510円)  
 小学生・中学生 / 100円(団体:50円、年間パスポート:300円)  
 ※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。※団体は20名以上。  
 ※展覧会により観覧料が異なる場合があります。



**[交通案内]**  
**●電車をご利用の場合**  
 東武アーバンパークライン(野田線)  
 「岩槻駅」から徒歩約10分  
 ※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。

**●車をご利用の場合**  
 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分  
 ※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。



〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6丁目1-1  
 Tel. 048-749-0222 Fax. 048-749-0225  
<https://ningyo-muse.jp/>

このリーフレットは70,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約9円です。

# 岩槻人形博物館 IWATSUKI NINGYO MUSEUM



さいたま市

# ようこそ、

さいたま市岩槻人形博物館へ。



**[施設概要]** 2020年2月22日開館  
 敷地面積: 7,543.41㎡ / 延べ面積: 2,029.07㎡  
 構造: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 / 階数: 地上1階  
 主要室: 展示室1～3、会議室、ミュージアムショップ

## 人形のまち、岩槻

江戸時代、「雛祭り」が行事として広まり、人形文化が華開きました。雛祭りの江戸での興隆を受け、鴻巣や越谷など、武州(現在の埼玉県を含む地域)の村々でも人形作りが始まりました。岩槻は大正時代以降に本格的な産地となり、高度経済成長期には県内最大の製作拠点として日本の人形産業を支えました。

現在でも、まちを歩くと人形店や工房の看板が目にとまり、「人形のまち」の風情が感じられます。



昭和40年代の岩槻駅前通り



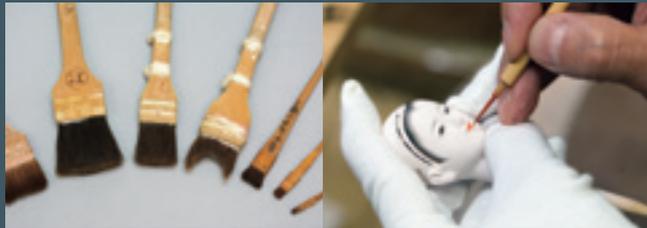
巻藁に挿した人形の頭

表紙 大宮 江戸時代

## 展示のご案内

### 展示室1 —— 埼玉の人形作り

埼玉県は日本最大の人形の産地です。この展示室では、岩槻を中心とした人形作りについて紹介します。人形の製作道具や材料、県内で作られた人形、文献資料などを展示するほか、職人による人形製作の様子を映像でご覧いただけます。

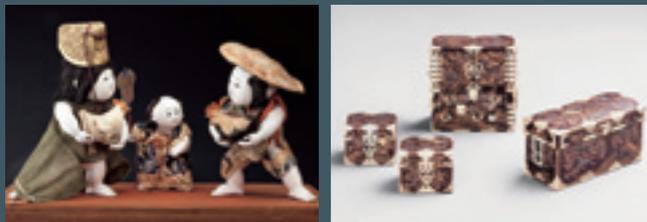


人形作りの道具(刷毛)

人形作りの様子(面相描き)

### 展示室2 —— コレクション展示 日本の人形

この展示室では当館所蔵の人形コレクションから、様々な日本の人形を展示します。雛人形や御所人形、加茂人形など様式美にあふれる人形をご覧ください。



上左/御所人形 鶏合 江戸時代 上右/紫檀象牙細工蒔絵雛道具 江戸時代

下左/浮世絵 三ツ会姫ひるな遊びノ図 歌川国貞(三代豊国)画 万延2年(1861)

下右/童心戯笛 野口光彦作 昭和31年(1956)

### 展示室3 —— 企画展示

人形に関する展覧会を開催します。詳細は博物館ホームページ、総合案内などでご確認ください。

※各展示室は展示替えを行います。

※展示室3は閉室期間がありますのでご注意ください。

## 岩槻人形博物館コレクション

日本や世界の様々な人形や人形に関連する資料を所蔵しています。

### 節句



雛段(上段/犬宮、古今雛 中段/隨身、つくね、五人囃子 下段/這子、雛道具) 江戸~明治時代

### 郷土



花巻土人形 司馬温公愛割 江戸時代

### 創作



桃太郎 平田郷陽作 昭和時代

### 古典



御所人形 裸童 江戸時代



加茂人形 七福神 江戸時代

### 世界



タイの玩具 張子の象 20世紀

### 絵画・古典籍



『雛百種』久保田米斎編/西澤笛畝編著 大正4年(1915)

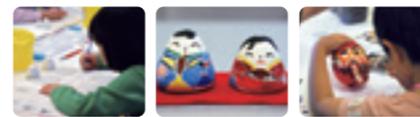
### 西澤笛畝と岩槻人形博物館



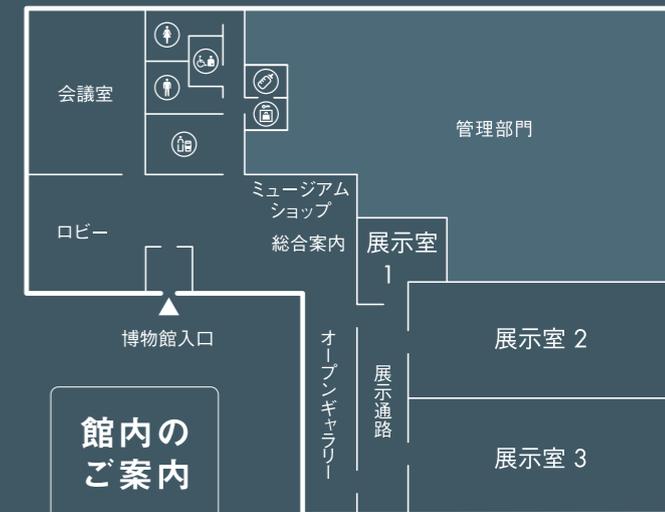
西澤笛畝肖像 自宅兼研究所にて 昭和時代

●岩槻人形博物館の所蔵品は、西澤笛畝(1889-1965)コレクションを柱としています。笛畝は画壇で活躍した日本画家ですが、人形玩具研究者、収集家として知られ、人形文化の発展と普及に尽力しました。笛畝の集めた人形は質が高く、幅広いジャンルにわたるのが特徴です。

【イベント、ワークショップ】 展示に関連した講座や体験学習を行います。子供から大人まで楽しめる、幅広い年代を対象としたプログラムを企画します。人形と人形に関わる文化を理解するきっかけになるような「みる」「しる」「つくる(体験する)」の企画を用意していますので、ぜひご参加ください。



エントランスホール



館内のご案内

- 女性トイレ
- 男性トイレ
- 多目的トイレ
- ドリンクコーナー
- 授乳室
- コインロッカー



裏小路入口からの通路

【ミュージアムショップ、カフェ】

ミュージアムショップでは、岩槻人形博物館が発行する刊行物のほか、オリジナルグッズなどを取りそろえています。カフェではお飲み物などをご用意しています。